



2023年6月22日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒川 隆治
(コード番号2784 東証プライム)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 羽野 和明
(TEL:03-5219-5102)

自治体向け糖尿病性腎症重症化予防事業の受託について ～アルフレッサが提案する多職種連携モデル～

当社の子会社であるアルフレッサ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福神雄介、以下「アルフレッサ」といいます)は、東京都小平市において令和5年度の国民健康保険(以下、「国保」といいます)の保健事業・糖尿病性腎症重症化予防事業を受託しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

高齢化が進む日本において、糖尿病患者の増加や、病気の放置に伴う合併症による患者 QOL^{※1}の著しい低下および社会への医療経済的負担が懸念されることから、厚生労働省は2016年4月に「糖尿病性腎症重症化予防プログラム^{※2}」を策定し、糖尿病性腎症重症化予防の取り組みを国レベルで支援しています。それを受けて、都道府県および市町村においては、地域の医師会、かかりつけ医が連携して、特定健康診査データやレセプトデータ等を活用したハイリスク者の抽出、受診勧奨、保健指導などの取り組みが展開されています。

当社グループは、「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」のグループ経営方針として『「グループ一体となった取り組み」による地域の健康・医療への貢献』を掲げています。地域医療のニーズに応え、地域医療構想の実現を下支えすべく、グループ一丸となって貢献することを目指しています。

このたび採択されたアルフレッサが提案する自治体向け糖尿病性腎症重症化予防プログラムは、小平市民の健康寿命延伸に向けて、地域の医療インフラを有効に活用したモデルであり、糖尿病の治療と並行して、薬局で腎症病期の進行を抑制するための療養指導が行えるという点が大きな特長となっています。

アルフレッサは、医療用医薬品等卸売企業の強みである医療機関との関係性を活かし、ご賛同いただいた医師会、薬剤師会の皆様とともに、地域の人々の健康寿命延伸に貢献してまいります。

※1 QOL(Quality of life): 患者様の身体的な苦痛の軽減、精神的、社会的活動を含めた総合的な活力、生きがい、満足度。

※2: 厚生労働省 2016年4月20日発表「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの策定について」
<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-12401000-Hokenkyoku-Soumuka/0000121900.pdf>

2. 本事業の全体像について

本事業は、小平市、小平市医師会および小平市薬剤師会との連携により開始されています。

糖尿病性腎症患者のうち、人口透析導入前段階にある対象者を抽出し、対象者の生活圏内にある地域薬局の薬剤師が対象者の通院する医療機関と連携し、アルフレッサの業務委託先である株式会社マディアのプログラムを活用して6ヵ月間の療養指導を実施します。

また、対象者の事業への参加勧奨については、一般的には通知により参加を募りますが、本事業では主治医や薬剤師からの声かけによる勧奨方法を優先することで、個々の患者様に合った治療プランの立案および主治医の指示の実践へとつなげる支援が可能となります。

【ステークホルダーの関係と指導時のイメージ】



3. 今後の見通し

本件による業績へ与える影響は、現時点では軽微であると見込んでおりますが、中長期的には当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。今後、本件に関して開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上

【ご参考】

株式会社マディアが平成 27 年より実施している長野県松本市の事例

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000170646.pdf>

出典：厚生労働省：重症化予防（国保・後期広域）ワーキンググループとりまとめ

「糖尿病性腎症重症化予防の更なる展開に向けて」事例集

「松本市（長野県）」医師・薬剤師が連携して保健指導を実施した事例